

守谷市立御所ヶ丘小学校教職員コンプライアンス宣言

令和8年6月1日

守谷市立御所ヶ丘小学校長 立花 英郎

～不祥事根絶に向けての考え方～

不祥事根絶に向けて、教職員一人一人が「自分事として考える」意識を高め、人権意識をもったコンプライアンス意識の向上及び被害者を作らないための学校の組織力向上と強化を図ります。

本校では、不祥事の根絶に向けて以下のような取組を実践します。

Ⅰ 法令及び不祥事防止のためのルールを遵守するための具体的な対応策等

(1) 教職員同士の温かな人間関係作り

教職員一人一人が、「御所ファミリー」として日頃から互いに支え合う温かな人間関係を築きます。

(2) 教職員のストレスを軽減

①勤務超過時間の確認

出退勤システムや目視により、常日頃から教職員の勤務超過時間を確認します。また、超過勤務のおそれのある教職員には面談を実施し、早期に改善を図ります。

②業務内容の確認

業務を一人で抱え込んでいる教職員を把握し、他の職員に協力してもらったり、必要のない内容は削減したりすることにより、速やかに負担軽減を図ります。

(3) コンプライアンス研修の計画的実施教職員が研修したい内容を選んで全教職員と共有するボトムアップ研修を行います。研修では、人権意識を高め法の知識を深めます。

①茨城県や全国の不祥事事例を資料とした研修

事例研修では、新聞記事等を参考に不祥事の内容を精査し、発生原因等を教職員同士で検討するほか、実際に下された処分内容（懲戒免職等）を研修します。

②未然防止のための研修

事例研修のほか、研修動画視聴やロールプレイにより、一人一人が「自分事として考える機会を設け、適切な対応方法を具体的に研修します。また、校内のヒヤリハット事例を共有し、危険予測と回避方法を共有し対応します。

2 体罰・わいせつ・セクハラ・盗撮の根絶に向けた具体的な対応策等

- (1) 守谷市主催のハラスメント研修内容の周知・徹底
事例や判例をもとにリスクを理解し、自分の行動を振り返るなどして意識を高めます。
- (2) 安心・安全な学校生活のためのチェックリストを活用
チェックリストの活用により、自己の言動を振り返り、体罰等の未然防止に努めます。
- (3) 盗撮等の防止のため、個人の記憶媒体機器の教室等への持ち込み禁止
盗撮及び個人情報漏洩防止のための一環として、個人の記憶媒体機器を教室等に持ち込むことを禁じます。

3 個人情報の管理を徹底するための具体的な対応策等

- (1) 個人情報の管理に係るコンプライアンス研修の徹底定期的な研修により、成績や顔写真などの個人情報を保護することの倫理的かつ法的な理解を深めます。
- (2) 個人情報の管理に係るチェックリストを活用
チェックリストの活用により、日頃から自分の行動を振り返り意識を高めます。
- (3) バディシステムの導入
市教委へのメールによるデータ報告の際には、誤送信を防ぐためにバディシステムを導入し、必ず管理職と共にアドレス等を確実に目視して送信します。

4 交通法規・安全運転の遵守徹底、飲酒運転の根絶等

- (1) 飲酒運転撲滅宣言書の提出
「飲酒運転撲滅宣言書」に署名し、飲酒運転の撲滅を宣誓します。
- (2) 交通法規の理解と遵守に係るコンプライアンス研修の実施
飲酒運転等交通法規違反の事例や判例をもとに、計画的にコンプライアンス研修を実施し、交通法規の理解と遵守を徹底します。

5 適切な会計処理のための対応策

- (1) 学校徴収金取扱要項を定期に見直します。
- (2) 年度始めに購入予定教材一覧や納入計画書を保護者に通知します。
- (3) 保護者と業者間の直接払いを推進します。
- (4) 購入、支出に関し、複数名で確認し管理します。
- (5) 年間3回の校内監査(7月、12月、3月)と年度末の外部による監査を実施します。